

福島第二原子力発電所 復旧計画の進捗状況について

(月報：平成24年8月)

平成24年9月3日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

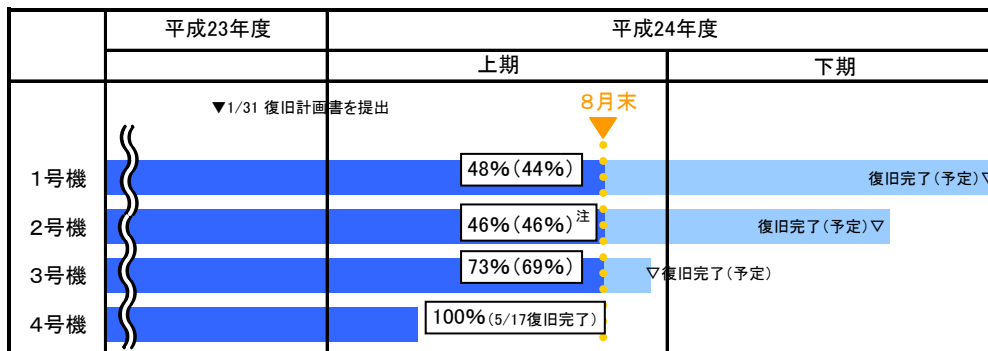
福島第二原子力発電所では、現在、原子力事業者防災業務計画に基づき策定した復旧計画（平成24年1月31日提出、5月31日改訂）に則り、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進めています。

平成24年8月末現在の復旧作業等の状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 復旧計画の進捗状況

1～3号機における復旧作業は順調に進んでいます。

4号機は、平成24年5月17日までに、冷温停止の維持に必要な設備等について本設設備への復旧および社内自主検査が完了し、復旧計画に係るこれまでの実施状況についてとりまとめ、5月31日、国に報告しました。（平成24年5月31日お知らせ済み）



●表中の％は、復旧計画に基づく復旧作業（本設化完了まで）の平成24年8月末時点の進捗割合。

（ ）内の％は前月末時点の同割合。詳細は資料1を参照。

●本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしている（号機毎）。

（注）2号機は資料1の各ステップに変動がなかったため前月同様の進捗割合となっているものの、各種作業は順調に進捗している。

2. 復旧計画に基づく主な作業状況（平成24年8月）

○1号機 原子炉建屋付属棟内 電源盤（M/C 1HPCS）の撤去完了

津波の影響をうけた1号機原子炉建屋付属棟内の電源盤（M/C 1HPCS）の撤去が8月29日に完了しました。【資料1参照】

今後、新たに電源盤を製作し、本設への切替えに向けて復旧作業等を進めてまいります。

○1号機 原子炉建屋付属棟内 非常用ディーゼル発電機（A）制御盤の撤去ならびに発電機の据付完了

津波の影響をうけた1号機原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機（A）については、8月2日に制御盤の撤去が完了しました。また、新規製作及び修理を行っていた発電機の現場据付が8月31日に完了しました。【資料1・資料2参照】
今後、機能確認を行います。

○1号機 原子炉建屋内 地震計の本設化完了

1号機原子炉建屋内の地震計*¹については、津波の影響をうけた4台を含む全6台（計12台）を新たに製作し、6月13日までに現場据付を完了していますが、8月6日に機能確認を終え、本設化が完了しました。【資料1・資料2参照】
今後、社内自主検査を行います。

○3号機 海水熱交換器建屋内 電源盤（P/C 3C-2）の本設化完了

津波の影響をうけた3号機海水熱交換器建屋内の電源盤（P/C 3C-2）については、新たに製作し、1月27日までに現場据付を完了していますが、8月27日に機能確認を終え、本設化が完了しました。【資料1・資料2参照】
今後、社内自主検査を行います。

3. 4号機 原子炉開放・燃料移動

原子炉内に装荷されている燃料については、設備に対する維持管理の簡素化の観点から、原子炉開放および燃料移動に必要な設備*²の健全性評価を行い、準備が整った時点で使用済燃料プールへ移動することとしています。（平成24年1月31日お知らせ済み）

4号機については、平成24年5月17日までに冷温停止の維持に必要な設備等の本設化が完了しましたが、原子炉開放および燃料移動に必要な設備については、6月26日までに点検を終了、7月2日までに評価を終え、健全であることを確認しました。（平成24年7月3日お知らせ済み）

現在、原子炉開放（9月10日目途）に向けて準備を進めています。（平成24年8月3日お知らせ済み）

4号機の原子炉開放については、9月10日より開始し、コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを順次行ってまいります。【資料3参照】

その後、10月初旬を目途に燃料移動を開始する予定です。

当社は、緊急事態解除宣言時に原子力安全委員会から示された4項目の留意事項*³を踏まえ、引き続き、復旧計画に基づく原子力災害事後対策を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

なお、留意事項のうち4.については、平成24年3月末までに対象系統の抽出を行い、現在、各対象系統への影響についての評価を実施中です。

以 上

※添付資料

- ・資料1 福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況
(平成24年8月末現在)
- ・資料2 <写真> 復旧計画に基づく主な作業状況(平成24年8月)
 - ・1号機 原子炉建屋付属棟内 非常用ディーゼル発電機(A)の据付完了
 - ・1号機 原子炉建屋内 地震計の本設化完了
 - ・3号機 海水熱交換器建屋内 電源盤(P/C 3C-2)の本設化完了
- ・資料3 4号機 原子炉開放の流れ

* 1 地震計

プラント運転中に大規模地震が発生した際、スクラム(原子炉の緊急停止の際に制御棒が急速挿入する動作)信号を発信する。

* 2 原子炉開放および燃料移動に必要な設備

原子炉建屋天井クレーン、燃料取扱装置、使用済燃料ラック、使用済燃料プール

* 3 原子力安全委員会から示された4項目の留意事項

平成23年12月26日、原子力安全委員会から内閣総理大臣に対して、当社福島第二原子力発電所に係る原子力緊急事態解除宣言を行っても差し支え無い旨の意見が示されるとともに、同宣言を行うにあたっての留意事項が示された。また、平成24年1月11日、経済産業省原子力安全・保安院から、福島第二原子力発電所の復旧計画の策定およびその実施にあたっては、当該留意事項について対応するよう指示があった。

1. 福島第二原子力発電所の一部の設備については、仮設設備となっており、これらの設備について適切に維持管理を行うこと。また、計画的に仮設設備の依存度を下げること。
2. 残留熱除去系の一部等の安全設備が復旧していないことから、それらが復旧するまでの間、状況に応じて適切な管理を行うこと。また、自然災害等に備えて、更なる安全確保に万全を期すこと。
3. 作業員の安全を含め安全管理に徹底を期すこと。
4. 冷温停止にいたるまでに、通常時と異なる圧力・温度等の履歴があったことを踏まえ、施設に対するこれらの影響を検討すること。

進捗に係わる各ステップの日付の定義は以下のとおり。

- 撤去 → 対象設備を取り外し、搬出が完了した日
- 発電所搬入 → 対象設備の工場修理（新規製作）後、構内の設置建屋への搬入が完了した日
- 現場据付 → 対象設備をすべて架台に設置完了した日
- 機能確認 → 対象設備単体が復旧し、系統として機能することを確認した日
（例）電源盤であれば受電した日、設備であれば系統復旧後（電源除く）の試験運転を実施し問題ないことを確認した日 等
- 本設切替 → 仮設から本設に切り替えた日（主に電源）
- 本設化完了予定 → 本設化完了の予定時期（完了したものは、完了日）

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

1号機 (1/2)

凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
6.9kV 電源系	C系	電源盤 (M/C 1C)新規製作	H23.10.31	H24.3.15	H24.3.28			H24. 上期	
	H系	電源盤 (M/C 1HPCS)新規製作	H24.8.29					H24. 下期	
480V 電源系	C-1系	電源盤 (P/C 1C-1)新規製作	H23.12.7	H24.4.13	H24.4.19			H24. 下期	
	C-2系	電源盤 (P/C 1C-2)新規製作	H23.11.11	H24.7.3	H24.7.10			H24. 下期	
	D-2系	電源盤 (P/C 1D-2)新規製作	H23.12.14	H24.6.12	H24.6.18			H24. 下期	
非常用ディーゼル発電設備	制御盤関係	新規製作	H24.8.2					H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.8.29	H24.8.20	H24.8.31			H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
	制御盤関係	新規製作	H23.11.15					H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.10.19					H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
直流電源	充電器	新規製作	H23.9.16					H24. 下期	
	蓄電池	新規製作	H23.6.3					H24. 下期	
地震計	新規製作・取替	H24.8.3	H24.6.1	H24.6.13	H24.8.6		H24.8.6		
低圧炉心スプレイ系	高圧電源 (M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 下期		

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

1号機 (2/2)

凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
残留熱除去系	A系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧				H23.11.17		H24. 下期	
	C系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.9		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.21	H23.9.26		H24. 下期	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H24.5.22	H24.5.22	H24.7.24		H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.20	H24.3.15		H24. 下期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H23.11.2	H23.11.11		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.4.5	H24.4.12		H24. 下期	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H24.5.15			H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.1.6	H24.1.12		H24. 下期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.4		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.11.22	H23.11.25	H23.11.26		H24. 下期	
原子炉冷却材浄化系	A系	電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧及びパーシライン本設化						H24. 下期	
	B系	パーシライン本設化						H24. 下期	
高圧炉心スプレー系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレー系補機冷却系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレー系補機冷却海水系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
原子炉補機冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H24.6.12	H24.6.13	H24.6.19		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.2	H23.7.4	H23.7.14		H24. 下期	
復水補給水系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
非常用ガス処理系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーシライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **48%** です。(前月44%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

2号機

凡例: ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備	作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系 電源盤(P/C 2C-2)新規製作	H24.6.13					H24.下期	
	D-2系 電源盤(P/C 2D-2)新規製作	H24.7.6					H24.下期	
残留熱除去機器冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧				H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
	C系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.24		H24.下期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.28	H23.7.28	H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H24.3.1				H24.下期	
	C系		H23.8.2				H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.12	H23.9.12	H23.10.12		H24.下期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.26	H23.7.26	H23.8.3		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
原子炉補機冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H24.6.5	H24.6.5	H24.6.14		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.6.28	H23.6.28	H23.7.12		H24.下期	
原子炉冷却材浄化系	A系 パージライン本設化						H24.下期	
	B系 パージライン本設化						H24.下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系	電動機新規製作	H23.9.2					H24.下期 ^{*1}	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パージライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **46%** です。(前月46%)
 注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100
 ※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

※1 復旧工程の見直しに伴い、本設化完了予定を「H24.上期」から「H24.下期」に変更。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

3号機

凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 3C-2)新規製作	H23.9.15	H24.1.26	H24.1.27	H24.8.27		H24.8.27	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.26		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.29	H23.8.30	H23.9.9		H24.上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.24	H23.8.24	H23.8.30		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.7	H23.9.14		H24.上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.23		H24.上期	
原子炉冷却材浄化系	A系	パージライン本設化						H24.上期	
	B系	パージライン本設化						H24.上期	

- *M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *パージライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **73%** です。(前月69%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)÷(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

4号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □: 前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 4C-2)新規製作	H23.9.7	H23.12.2	H23.12.9	H24.1.30		H24.1.30	H24.5.15
	D-2系	電源盤(P/C 4D-2)新規製作	H23.9.30	H24.2.28	H24.3.8	H24.3.23		H24.3.23	H24.5.16
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.25	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.5	H23.7.5	H23.7.7	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.19	H24.4.19	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.5	H23.9.29	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H23.7.27	H23.8.2	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.7	H23.9.7	H23.9.21	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H24.4.18	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.17	H24.4.17	H24.4.25	H24.4.25	H24.4.25	H24.5.16
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.21	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
原子炉冷却材浄化系	A系	パーゼライン本設化					H24.5.11	H24.5.11	H24.5.17
	B系	パーゼライン本設化					H24.5.17	H24.5.17	H24.5.17

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、空気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーゼライン：原子炉冷却材浄化系(循環ポンプの封水ライン)

平成24年5月17日、**復旧が完了（100%）**しました。

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)÷(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施した社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行いました。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年8月末現在）

共通設備		凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外 日付は終了(完了)日を記入 ■:前回の月報からの更新箇所							
対象設備		点検内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化 完了予定	社内自主検査
放水口モニタ	1・2号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.下期	
	3・4号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.上期	

現在の進捗状況の割合は **0%** です。（前月0%）

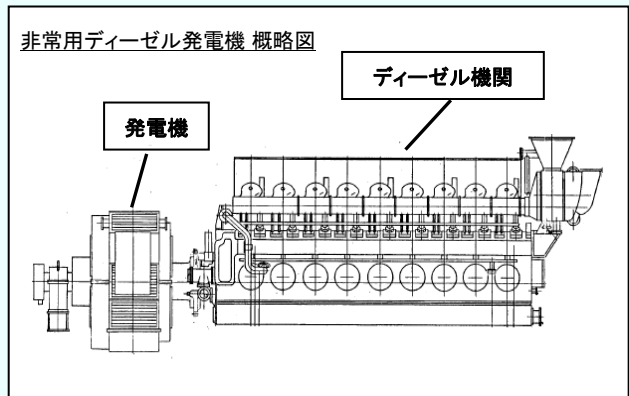
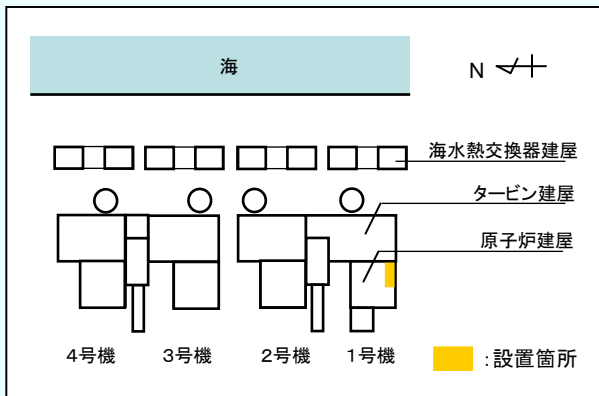
注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

● 1号機 原子炉建屋付属棟内 非常用ディーゼル発電機（A）の据付完了（8月31日）

津波の影響を受けた1号機原子炉建屋付属棟内の非常用ディーゼル発電機(A)については、8月2日に制御盤の撤去が完了しました。また、新規製作及び修理を行っていた発電機*の現場据付が8月31日に完了しました。

* 発電機は、発電するための磁界を発生する回転子巻線（ディーゼルエンジンの力で回転）と発電した電気が流れる固定子巻線から構成されています。
 発電機回転子・・・ディーゼルエンジンより動力を得て回転する部分。回転子に励磁電流を流すことで磁界を作る。（回転磁界）
 発電機固定子・・・回転子の周りに固定されたコイル。回転子で作られた回転磁界により起電力を得て発電する。



● 発電機固定子の搬入・据付状況



①クレーン車による吊り上げ作業の様子
 （平成24年8月7日撮影）



②建屋内への吊り下げ作業の様子
 （平成24年8月7日撮影）



③発電機固定子の移動作業の様子
 （平成24年8月8日撮影）



④発電機固定子の据付作業の様子
 （平成24年8月8日撮影）

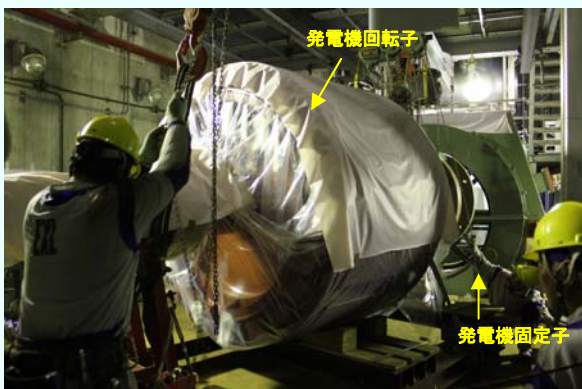
● 発電機回転子の搬入・据付状況



① 発電機回転子の吊り上げ作業の様子
(平成24年8月20日撮影)



② 建屋内への吊り下げ作業の様子
(平成24年8月20日撮影)



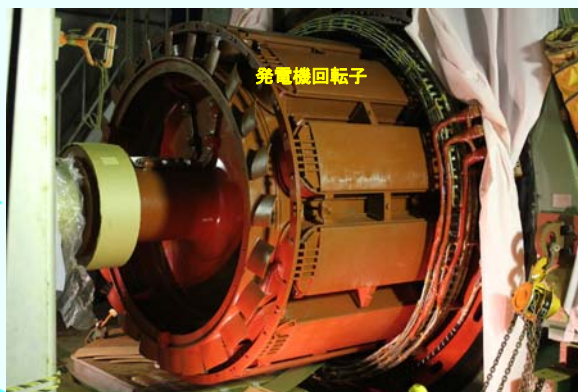
③ 発電機回転子の移動作業の様子
(平成24年8月21日撮影)



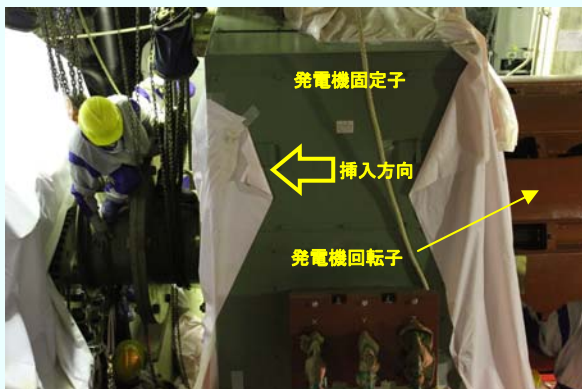
④ 発電機固定子への挿入作業の様子
(平成24年8月22日撮影)



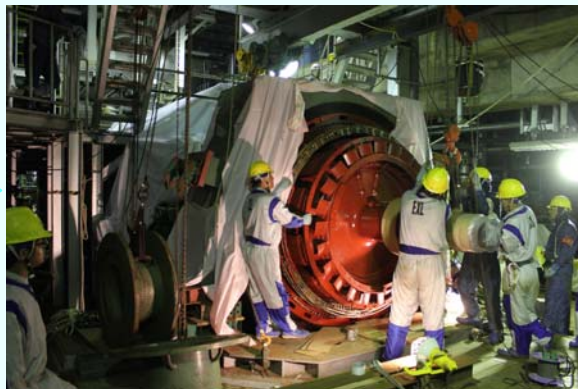
⑤ 発電機固定子への挿入作業の様子
(平成24年8月22日撮影)



⑥ 発電機固定子への挿入作業の様子
(平成24年8月22日撮影)

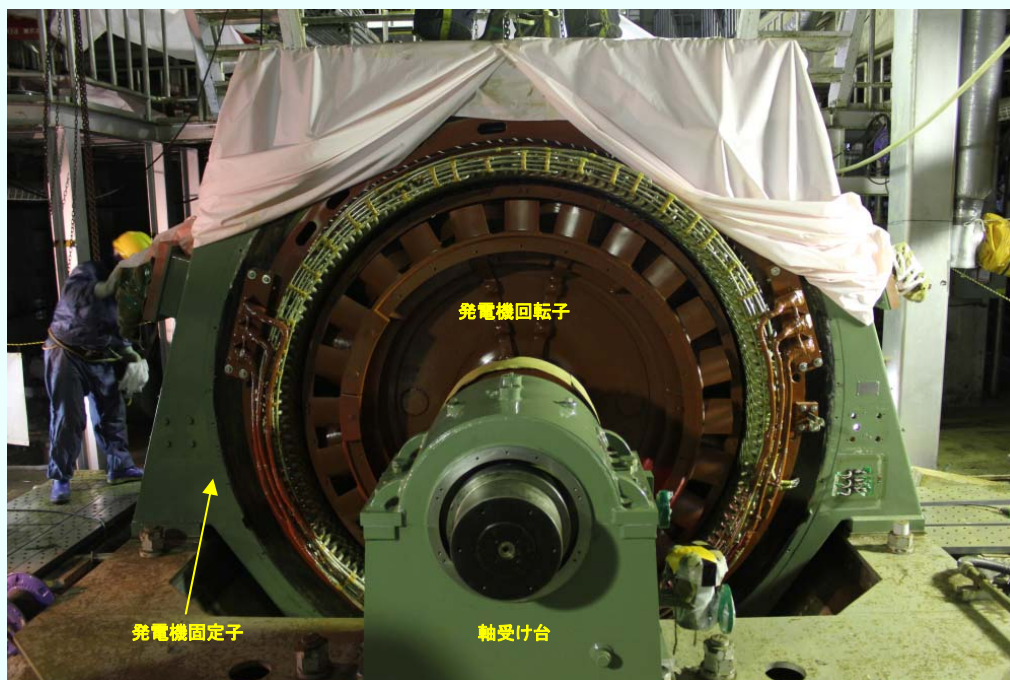


⑦ 発電機固定子への挿入作業の様子(上部より)
(平成24年8月22日撮影)



⑧ 発電機固定子への挿入作業の様子
(平成24年8月22日撮影)

● 発電機据付完了



発電機据付完了(平成24年8月31日)
(平成24年8月31日撮影)

(参考) 非常用ディーゼル発電機の津波直後の状況と現況

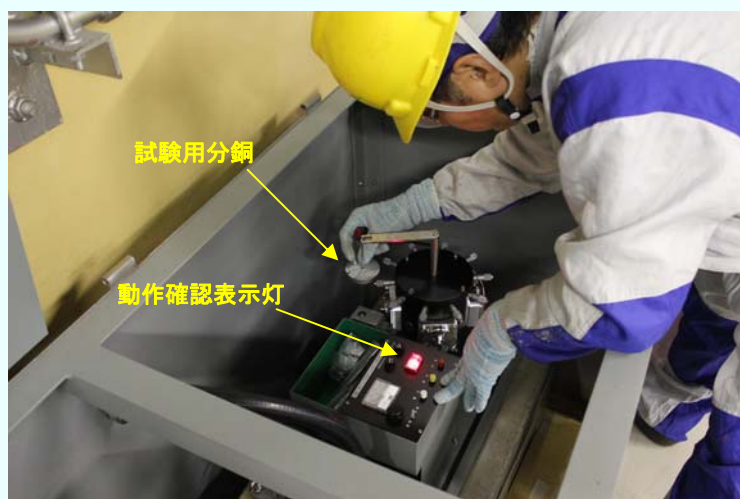
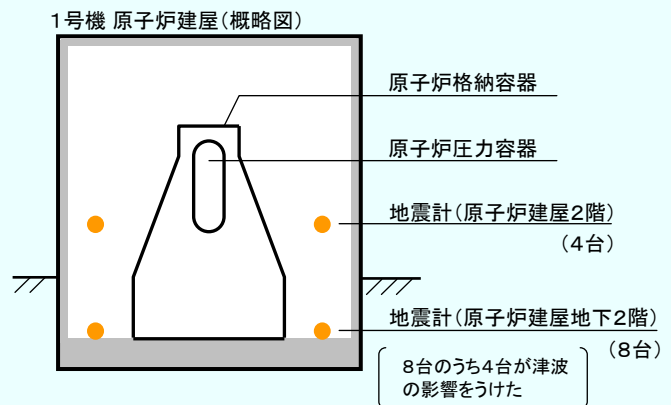
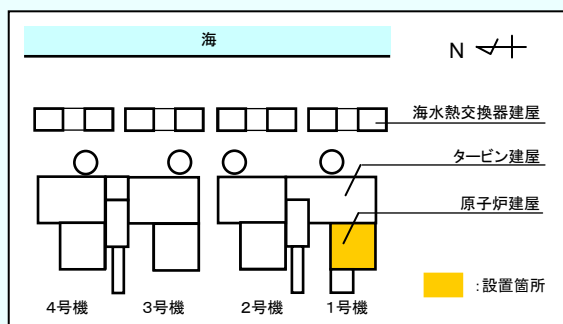
		1号機		2号機		3号機		4号機	
設備	系統	津波直後の状況	H24.8末現在の状況	津波直後の状況	H24.8末現在の状況	津波直後の状況	H24.8末現在の状況	津波直後の状況	H24.8末現在の状況
非常用ディーゼル発電機	A	×	×	×	○ H23.8.8復帰	×	○ H23.8.31復帰	×	○ H23.8.3復帰
	B	×	○ H23.7.15復帰	×	○ H23.3.14復帰	○	○	×	○ H23.3.14復帰
	H	×	×	×	×	○	○	○	○

凡例: ○:使用可、×:使用不可

● 1号機 原子炉建屋内 地震計の本設化完了（8月6日）

1号機原子炉建屋内の地震計については、津波の影響をうけた4台を含む全台（計12台）を新たに製作し、6月13日までに現場据付を完了していますが、8月6日に機能確認を終え、本設化が完了しました。

- 当該地震計は、プラント運転中に大規模地震が発生した際、スクラム（原子炉の緊急停止の際に制御棒が急速挿入する動作）信号を発信します。
当該地震計は、東北地方太平洋沖地震発生時に設計通り動作し、1～4号機が自動停止しました。
- 当該地震計は、各号機とも原子炉建屋2階および地下2階に設置しており、1号機の地震計については、原子炉建屋地下2階に設置された8台のうち4台が津波の影響を受けました。（2～4号機の地震計は、津波の影響はなく健全な状態）

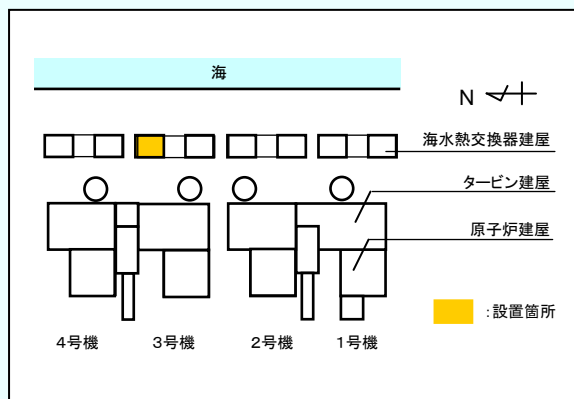


機能確認時の様子(1号機原子炉建屋地下2階)
(平成24年7月25日撮影)

地震の模擬として試験用分銅を地震計に乗せ、地震計が正常に感知しているかを確認。

● 3号機 海水熱交換器建屋内 電源盤 (P/C 3C-2) の本設化完了 (8月27日)

津波の影響を受けた3号機海水熱交換器建屋内の電源盤(P/C 3C-2)については、新たに製作し、1月27日までに現場据付を完了していますが、8月27日に機能確認を終え、本設化が完了しました。



機能確認の様子
(平成24年8月27日撮影)

● 4号機 原子炉開放の流れ

当所4号機の原子炉開放については、9月10日より開始し、コンクリートハッチ、原子炉格納容器の蓋、原子炉圧力容器の蓋、蒸気乾燥器、気水分離器の取り外しを順次行ってまいります。

